

科目名	建築法規 1							年度	2025
英語科目名	Building Codes and Regulations 1							学期	前期
学科・学年	建築学科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	宮部 瑛理	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計・行政		
【科目の目的】 建築法規の社会的意義と個々の法定内容を理解し、建築設計等の基礎的知識及び実践的知識として身に着け、活用できるようになることを目的とする。									
【科目の概要】 毎回毎単元、法令集の重要な部分に自分で線引きをする。同時に、法令が何を規制しているか、どのように規制内容をクリアしていくかを具体的な図や計算などで説明し、さらに「授業プリント」の空欄の穴埋めや、二級建築士試験の過去問題等を題材にした「小テスト」を解きながら、自分の力で答えを導くことを実践する。繰り返し法令集を引くという実践的授業により、法令集の独特の専門的な表現を読み理解し、具体的な建築設計実例にまで落としこむことができるようにする。									
【到達目標】 A建築基準法・用語の定義の知識を身に着ける。 B建築基準法・面積・高さの算定方法の知識を身に着ける。 C建築基準法・一般構造・防火と避難の知識を身に着ける。 D建築基準法・構造計算・構造強度等の知識を身に着ける。 E建築基準法・手続き規定の知識を身に着ける。									
【授業の注意点】 法令集とテキストや赤ペン、青ペン、過去の授業プリントファイルは必ず持参し、積極的な態度で授業に臨むこと。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	用語の定義の内容を深く理解し、建築計画に活かすことができる		用語の定義の内容を重要だと認識し、概ね理解している			用語の定義の内容を理解していない			
到達目標 B	面積・高さの算定方法の問題を解くことができる		面積・高さの算定方法の知識がある			面積・高さの算定方法の知識がない			
到達目標 C	一般構造・防火と避難の内容を深く理解し、建築計画に活かすことができる		一般構造・防火と避難の内容を重要だと認識し、概ね理解している			一般構造・防火と避難の知識がない			
到達目標 D	構造計算・構造強度等の内容を深く理解し、建築計画に活かすことができる		構造計算・構造強度等の内容を重要だと認識し、概ね理解している			構造計算・構造強度等の内容を理解していない			
到達目標 E	確認申請等手続き規定の内容を深く理解している		確認申請等手続き規定の内容を重要だと認識し、概ね理解している			確認申請等手続き規定の内容を理解していない			
【教科書】 建築関係法令集、初学者の建築講座「建築法規」									
【参考資料】 授業用プリント集									
【成績の評価方法・評価基準】 授業内容の理解度を確認するために毎回の小テストで評価するほか、期末試験で評価する。積極的な授業参加度、授業態度や出欠席によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

